

迎春

2005年元旦



槍ヶ岳 (倉田富士雄)



No.367

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03 5842 6461
FAX 03 5842 6462
振替 00110-6-97793
定価 50円

生きつぐ

碓田のぼる

母の胎内を出づる日近いすこよりか「赤旗」創刊の
たかぶりが寄す(序歌)

雪霏々と信濃の盆地は降り昏み汝は生まれしと母の幻

「赤旗」創刊に幾日もおかず生まれ来し命いとおしみ
今日を生きつぐ

三・一五の年に生まれしを誇りとし心老いしめずと立
つ木枯の街

はるか信濃の一揆の裔も涙こぼし火群だちゆく「草の
乱」観る

新年明けましておめでとうございます



中央本部会長

中西三洋

今年が敗戦六〇周年、治安維持法廃止六〇周年の意義ある節目の年です。

しかし、日本の侵略戦争の歴史を反省しない小泉首相は、アメリカの圧力の下、自衛隊のイラク派兵一年延長を決定するとともに、自衛隊の海外派兵、軍隊化、天皇元首化をはかる憲法改悪の策動を露骨にすすめています。

戦争する人づくりをはかる教育基本法改悪も通常国会に提案しようとしています。

敗戦後、赤旗の大波に迎えられて豊多摩刑務所を出獄し、「再び戦争と暗黒政治を許さぬ」決意を固めて、闘いぬいて来た私は、アメリカの侵略戦争に協力する小泉首相の憲法改悪、軍国主義復活の野望を絶対に許すことはできません。

今年が同盟出番の情勢に応わしく、五〇万署名と一万六千人同盟員拡大をやりぬき、四月の同盟第三十二回全国大会と五月国会請願を成功させるため全力をあげて奮闘しましょう。

同盟中央役員・顧問

会長 中西三洋

副会長 近江谷昭二郎

副会長 近藤一雄

同 神戸 照

同 高嶋信敏

同 小林 初江
同 増本 一彦

山形県 島津 昭

去年今年イラクへ後獅子被りかな
初鏡首相よ己が貌を見よ
七種爪戦の爪も切んべえな
九条は世界の夢よ鶏初関

今年が戦後史上最もたいへんな年になります。この日のためにわが同盟が存在しているとも言えます。自信をもって慌てず、怠らずに闘いましょう。

茨城県 軽部 博

激動の年を迎え、新年のご挨拶を申し上げます。小泉政府は、憲法改悪と年金改悪・消費税増税など、国民の平和と生活を破壊する政治をすすめようとしています。私たちは、多くの国民と団結し、これを断念させるまでたたかひぬく必要があります。これと結びつけて、50万国賠署名の目標達成のため、今年も頑張りましょう。

東京都 宮田 勝

今年が、敗戦六〇周年の節目の年、七月には都議会議員選挙もあり奮闘が求められる年です。

石原都知事の憲法・民主主義を否定する右翼的言動は許せませ

ん。

福祉切り捨ての大鉈を振る石原都政とオール与党に厳しい審判を下し、革新勢力の躍進に貢献すると共に同盟会員を増やし五万筆の署名達成に奮闘する決意です。

新潟県 鈴木 良枝

二〇〇五年の重要な課題に、憲法改悪との闘いがあります。

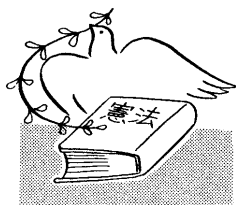
自民党は昨年十一月十七日、自衛軍の創設、集団的自衛権の容認、基本的人権制限の布告、天皇の元首化などを含む「改憲大綱原案」を明らかにしました。

再び戦争と暗黒政治許さずを掲げる運動体として、自らの組織をあげて、すべての民主勢力とも協力し、改憲阻止のためともに全力をつくそうではありませんか。

被災救援のカンパと激励に応えて頑張ります。

愛知県 水野 晃治

イラク派兵延長、大増税、憲法改悪のための国民投票準備など小泉内閣が次々に国民への攻撃の手をうつてきているのにたいし、憲法問題を前面に運動のテンポを上げ、署名目標、会員拡大目標達成



事務局長	斎藤邦雄	同	藤沢弘太郎(和歌山)
同次長	富矢信男	同	築谷時雄(兵庫)
同	松田岩男	同	則武真一(岡山)
同	松井久雄	同	勝部庸一(島根)
常任理事		同	久保文彦(香川)
同	伊藤 俊(北海道)	同	溝淵政子(高知)
同	大沼耕治(宮城)	同	橋本幸夫(福岡)
同	島津 昭(山形)	同	都留忠久(大分)
同	久保田俊雄(茨城)	同	
同	小口 巽(埼玉)	同	
同	宮田 勝(東京)	同	
同	川口 弘(東京)	同	
同	山崎 元(東京)	同	
同	齊藤久枝(東京)	同	
同	横川定司(神奈川)	同	
同	蓮見孝子(神奈川)	同	
同	荒井俊信(長野)	同	
同	米山順夫(長野)	同	
同	北村直吉(新潟)	同	
同	水野晃治(愛知)	同	
同	岡本 康(京都)	同	
同	柳河瀬精(大阪)	同	
同	川村 博(大阪)	同	
顧問		同	
名誉会長		同	
桑原英武		同	
戎谷春松		同	
沼田秀郷		同	
松崎濱子		同	
松田解子		同	
宮本太郎		同	
丸山三之助		同	
田熊真澄		同	
石坂真人		同	
渡辺タケ		同	
吉田千代子		同	

のために力をつくしたい。またこのなかで、わが県本部がとくにおこなわれている女性部の確立、支部の組織化につとめたい。

和歌山県 藤澤弘太郎
終戦六〇年・治安維持法廃止六

〇年―そして、県同盟結成二〇年を迎えました。

今年を憲法九条改憲のいかなる企みも絶対許さぬ年に！ 治安維持法弾圧の下、不屈に闘った先輩達によってかちとられた憲法。

許すまじ!!再び戦争と暗黒政治を。国賠署名達成と自治体での採択、組織の拡大強化で応えよう。

山口県 林 洋武
いま、アジアの政治は大きく変わっています。治安維持法と命をかけて闘い朝鮮の独立運動家を支援した故布施辰治弁護士に、韓国政府が「建国勲章」を授与したことにこそそれは示されています。日本だけが歴史の前進に取り残されてよいはずはありません。よどんだ日本の政治を変え歴史の進歩を勝ち取るために今年も奮闘します。

国民の良識である。同盟の運動と「九条の会」の運動とは一体なものとして、二〇〇五年は前進を遂げて行きたい。

鹿児島県 小堀 清直
日本を戦争する国に変えようとする動きが強まる中で、これを心配して、同盟の運動に共感する人が増えています。

鹿児島県の同盟は昨年大黒柱の牧之内淳事務局長(中央常任委員)を失うという試練を受けましたが同氏の不撓不屈の精神を受け継ぎ、本年は昨年を上回る署名を集め会員を大幅に増やす決意です。

香川県 山下性太郎

沖縄県 田港 朝昭
沖縄駐留の米海兵隊がイラクを攻撃し、子供や女性、老人まで虐殺する暴虐をおこなっています。「再び戦争と暗黒政治を許すな」の声をもつと大きく叫ばなければならぬ情勢です。

新しい年二〇〇五年は、沖縄県本部の役割と責任を自覚し、国会請願署名でも、風化させない運動でも、会員拡大でも見るべき前進がかちとれるよう力をつくしたいと願っています。

新春随想

戦前、私は夫とともに治安維持法で弾圧され、出獄しても特高がついてまわりひどい目にありました。戦争が終わったという知らせを聞いて、思わず万歳を叫んで母からたしなめられました。治安維持法と特高から解放されてから六〇年。今、私は九六歳。

新憲法もできて平和で民主的な日本への展望が開かれました。戦後の生活は苦しいものでしたが希望もあり、戦争の恐怖からの解放はなにものにも代えがたいものでした。やがて逆コースが始まります。アメリカの命令で憲法違反の自衛隊という軍隊ができ、ついに海外派兵されるまでになってしまいました。

戦争と暗黒政治は車の車輪です。憲法改悪が公然と叫ばれはじめました。日の丸、君が代の強制がすみびらを配っただけ

で逮捕される事件まで起きています。まるで治安維持法の時代、暗黒政治の再来です。これは戦後政治を始めるにあたり戦争責任、けじめをつけず、あいまいにしてきたことに原因があります。

最高責任者の天皇をはじめ戦争の責任を取るべき者たちが一億総懺悔といって自らの責任をあいまいにしています。

「九条の会」に希望を見る

五味迪子

し、訴えてきた意義は大きいと思います。

憲法改悪の動きを許すなど、大江健三郎さんなどが呼びかけた「九条の会」にこたえて広範な人びとが立ち上がっています。私はここに希望を見ます。

憲法九条、いまこそ句です。「戦争と暗黒政治を許すな」の国賠同盟のスローガンが光っていると思います。(青森県本部会長)

治安維持法制定八〇年、廃止六〇年という大きな節目の年を迎えました。もちろん終戦六〇年です。

歴史の視野にたつて、それより前の六〇年はどうでしょう。映画『草の乱』が秩父事件一二〇年記念と銘打たれて製作されたように、自由民権運動が弾圧によって押しつぶされたときでした。

六〇年の節目

柳河瀬 精

歴史のページを繰ってみれば、大日本帝国憲法の時代が始まったのは一八八九年です。

もちろん日清、日露、第一次世界大戦、柳条湖事件、盧溝橋事件、アジア太平洋戦争と戦争が続けられた時代でもありません。

戦後の六〇年は、わたしたちの世代が作ってきた歴史です。歴史の移り変わりを見ている

と、これから先の六〇年は、もっと大きな変化になるだろうと、いろいろ夢をふくらませています。

もちろん、わたしの生命は消滅していますが、わたしには一四歳をかしらに六人の孫がいま、孫たちがわたしの歳ほどまで生きる時代が、次の六〇年です。

おじいちゃんたちは歴史を切り拓くために、ここま

でやってきたんだと胸を張り、後は任せるといえるまで、もうひと

と働きも、ふた働きもしなければなりません。

侵略戦争も、特高官僚の特権犯罪についても、日本政府の歴史的道義的責任を明確にすることが、歴史を切り拓く鍵です。

責任を認めさせるまでがんばり続けます。

新春随想

(大阪府本部会長)

顕彰碑

福岡県久留米市

解放運動戦士の碑と井上満文学碑

久留米市野中町正源寺には、『解放運動戦士の碑』があり、正面に碑建立の経過が御影石に刻まれています。碑の近くには、第一次合葬者三三八名の名前を刻んだ碑があります。解放運動旧友会の機関紙『風雪』(一三四号・75年11月20日付)によると、福岡県と佐賀県の福佐連合会の方々が合祀されています。

この碑を建立するために当時、久留米市天神町に住んでいた鳥居重樹氏が正源寺先代の老和尚のもとに通いつづけて承諾をとりつけ、『風雪』の会員二百名と有志の募金によって、75年11月20日に『開眼式』が行われました。

中尾新一など治安維持法等による弾圧犠牲者四十数名の方が含まれています。『解放運動戦士の碑』の除幕式は、正源寺老和尚の意見によって『開眼式』として行われました。開眼式は包んだ布をほどくだけの形式でなく、魂を碑に吹き込む儀式にすべきであるとのご高見に一同賛成して盛大に行われました。

正源寺楼門を入って左側に、ロシア文学者の井上満文学碑が建立されています。井上満は1900年に久留米市で生まれ、明善中学卒業後、ハルビンの日露協合学校でロシア語を学び、1936年(昭和11)の二・二六事件後、軍機保護法違反として検挙された34名の大使館関係者の一人として検挙されました。戦後は日本共産党に入党、平和友好運動にとりくみ、1969年7月20日に文学碑は除幕されました。



(福岡県本部 橋本幸夫)

治安維持法と現代

敗戦60年・治安維持法廃止60年記念特集号

原稿募集について

「治安維持法と現代」への日頃のご愛顧にあつくお礼申し上げます。戦後60年後の日本は、二大政党化の流れとともに軍国主義的・復古的な黒い雲が頭上を覆っています。この時にあたり編集委員会では、05年春季号を「60年記念特集号」として多彩な企画により編集する計画です。左記の原稿を募集しますので奮ってご応募ください。

募集要領

- 1、「60年目の転換点に立つて」―以上の視点にたつて戦前・戦中・戦後の体験・感想・主張などの手記―字数1000字以内。
- 2、「わが地方の同盟運動」―同盟運動のレポート。字数3000字以内。写真歓迎。
- 3、「暗黒政治下の犠牲者のたたかいと業績」―われわれの先達は弾圧に屈せず命をかけて今日の礎を築きました。そのたたかいと業績の紹介。字数8000字以内。
- 4、その他の原稿募集は従来通りおこないます。

■締め切り 2月15日

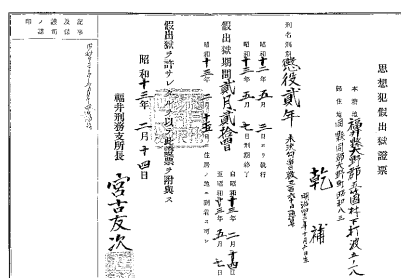
「治安維持法と現代」編集委員会

抵抗の群像

郷土の先覚者

乾補の生涯

同盟福井県本部 吉田石雄



写真上は、「政治的自由獲得労働同盟万歳」「労働者農民の政府を作れ」のスローガンを背に記念写真1929年の正月（後列左より二人目が乾補）。下は思想犯仮出獄證書

乾補は、一九〇九（明治42）年十月二日、福井県大野郡五箇村下打波、桂島炭鉱の飯場の家で生まれました。少年時代は雑誌「少年世界」を愛読し、自らが印刷りの文集もつくる文学少年でした。一九二八（昭和3）年、早稲田大学に入り、プロレタリア文学に興味をもち、「文学思潮研究会」

に入会、翌年正月帰郷すると、福井県内で組織された「新党準備会」発会式に参加。これが大学当局の知るところとなって、九月に退学処分をうけ再び大野に帰郷。やがて彼の家には労働者が出入りするようになり、密かな学習サークル活動の場となっていました。また福井・勝山方面にも足繁く出かけ、組織活動が続けられていました。

一九三〇年には彼は福井県労働同志会常任書記になると、居を福井市に移し、第一回福井県メーデーを組織、六月には治安維持法違反で検挙されました。翌年九月二十二日、「懲役一年執行猶予三年」の判決が出ましたが、彼の活動は止まず、再び大野町昭和を根城に文化活動をはじめ、福井、春江、丸岡、勝山の繊維労働者を結集して「若人の集い」を小舟渡で開催します。しかしこの集いはスパイの手引きで官憲に急襲され、多くの女工さん達が各地の所轄署に分割留置され、これ以後彼らの活動は逐一特高警察の監視されることとなりしました。

一九三三（昭和8）年六月、大野繊維労働組合及び一般使用人組合を結成し、九月に再び検挙。これは陸軍大演習に天皇行幸があるためでした。その後モサークル活動や救援活動、労組再建などに動いていましたが、三五（昭和10）年十月、三度目の検挙となり、今度は長い獄中生活となりました。この頃の母みわの手紙には「補はいつも他人様を助ける……というけれど、この母を泥田の中に、頭があらぬようにしていることを、早く気づいてくれることを待っているのよ」と書かれ、彼にとつて母の面会と手紙は、どんな拷問にも勝るつらいものでした。意思の強かった彼も、優しい母の情には堪えられませんでした。

転向して保釈となりますが、それでも特高に尾行される日々でした。保釈中に乾しげの出会い、結婚。再び獄に戻ってまもなく長女の出産を知ります。三八（昭和13）年二月、刑期三カ月を残して仮出獄。この年、国家総動員法が成立し、日中戦争は拡大の一途をたどっていました。太平洋戦争が始まった一九四一（昭和16）年、彼は上京して、「東京重要産業協議会」に勤務、いわゆる情報処理の仕事でした。この間に長男が誕生し、戦時下とはいえ、夫婦と子ども三人の一家は幸せな生活が続きしました。

しかし、それは束の間の幸せでありました。彼もまもなく召集されて外地に送られ、戦死。彼の墓碑銘には、「昭和十九年八月十四日 ビルマにて餓死 行年三十六歳」と刻まれていました。（「不屈」福井県版より要約）

『宮本百合子全集』新版全三三冊が完結、百合子ファンや研究者にこよないプレゼントとなりました。同じ新日本出版社がさきに世に送った『小林多喜二全集』(全七巻)とともに、日本改革の歴史的事業に灯台のかがやきをもたらす出版文化の金字塔です。

二〇〇四年春、この宮本百合子全集、完結を記念して公開講座が開かれ、本書はその講演記録に六人の講師それぞれが加筆補正した報告集です。

人間らしく生きる――

『貧しき人々の群』の

出発 伊豆利彦

『伸子』の情熱と知性

澤田章子

試練の十二年・『獄中

への手紙』が語るも

の 岩淵 剛

人生の転換点に重ねて――『播州

平野』の再読 羽田澄子

『道標』から見えるもの

須沢知花

戦後の百合子――回想をまじえて

辻井 喬

男女三人ずつ、百合子研究第一

書棚

『いまに生きる宮本百合子』

多喜二・百合子研究会編 本体1900円

線で活躍する研究者、作家、評論家が、ふたたび戦争と自由抑圧の危機が予感される今日の状況に照して、作品にみ�り、人間性豊かに、そして不屈に生きた百合子の実像を縦横に語っています。たとえば辻井喬の一節ですが、

「宮本百合子さんが一九四〇年に書いた『芭蕉について』

(全集第四巻)は伝統についての彼女の考え方を、知る上でも重要な作品だと思ひます。この頃は軍閥政府による思想統制が極めて烈しい時代だったのですが――芭蕉について『彼の芸術には今の瞬間に思ひついている何ものがあるにちがいない』と明言し、『芭蕉自身にしろ、西鶴や門左衛門と等しく、古いものの権威

の失墜と、人間性の高揚と現実と即してはなれぬ時代気風とを骨髓に持つて成長して来ている。――この文章から、当時の厳しい弾圧の中にあつても決して屈していない文学者の姿勢」

本書を経て百合子全集を読破する意欲が湧いてきます。(元)

映画評

『父と暮らせば』

エキブ・ド・シネマ作品 監督・黒木和雄

今年是被爆六〇周年。

爆死した多くの人たちの無念の想いは当然であるが、家族の全てと多くの知人を失つて生き残つた人間の苦悩と不安は計り知れないものがある。

「父と暮らせば」は人間の命の尊さを市民の名もなき父娘に託して描いた、現代日本の代表的作家、井上ひさしの同名戯曲の完全映画化である。井上ひさしは、二年の歳月をかけて被爆者の証言を丹念に集め、この作品を書き上げた、セリフのひとつひとつに元になる事実があつたという。また、主演の宮沢りえも出演にあたつてその役の重みを理解するために、ヒロシマの被爆の資料や被爆者の体験資料を精力的に勉強したという。

映画の登場人物は三人だけで、その殆どは、自分だけが生き残つて負い目を感じている娘、福吉三津江(宮沢りえ)と爆死した父の亡霊、福吉竹造(原田芳雄)会話で終始するが、その会話をとおして被爆者でなければ理解できない悩みや苦しみを教えてくれている。生きる希望をうしなつて三津江に「はいじゃが、まことあやなむごい別れが何万もあつたちゆうことを覚えてもらうために生かされとるんじや、おまいの勤める図書館もそげなことを伝えるところとちゃうか」「わしの分まで生きてちようよオ！」と生きる大切さと勇気を与えられる。ともすれば暗くなりがちなテーマではあるが物語の設定を被爆三年後にすることで暗すぎないように配慮されている。また戯曲では表現できないリアルな映像をコンピュータ・グラフィックを駆使して観てくれる。特に四五年八月六日B29が投下した落下傘の映像に続いて、原爆爆発の瞬間、青白い閃光の後、キノコ型の原子雲の下に瞬時に壊滅したヒロシマの映像は衝撃的である。戦争を知らない世代にも強い説得力があるのでは。改めて決して忘れてはならないことを訴えている。

七月の封切り以来、現在まで七万五千人の観客動員があり、三月に再上映が企画されている。(倉)

賀正

非核の政府を求める会
常任世話人 塩田庄兵衛

東京都文京区本駒込二二六一二
〇三十三九四一五〇五二

畑田重夫
はた だ しげ お

木村康子
(日本母親大会)

一橋大学名誉教授

浜林正夫



権力犯罪者・特高官僚の戦後を綿密な調査で赤裸々にした告発の書

柳河瀬 精著

告発 戦後の特高官僚

定価1800円(税込) 送料250円 発行 機関紙出版センター

お申し込みは 治維法同盟大阪府本部へ 10部以上申し込みの場合、2割還元・送料無料
一般書店でもお申し込みいただけます

事務局日誌

12月10日 「不屈」名刺広告編集会議

12月11日 国際民主法律家協会会議に参加

12月12日 イラク戦犯民衆法廷に参加

12月14日 都本部理事会に斎藤事務局長参加

12月15日 「不屈」新年号編集作業

今年は、四月に大会、五月に国会請願、十月にシンポジウムと治安維持法廃止六〇周年の節目の年にふさわしく頑張ります。どうぞよろしく。
(事務局一同)

五〇万署名活動に

署名推進リーフ(二部三円)の積極的活用を

顕彰碑探訪

原稿募集

字数600字、必ず写真一葉を添えてください。
編集部

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

『治安維持法と現代』 2004年秋季号 好評発売中

【主な目次】二大政党制と政治革新(畑田重夫)、「日の丸・君が代」強制はなにをもたらすか(荻沢忠雄)、9条改憲阻止で国民の過半数獲得を(渡辺治)、有事法制と戦時体制づくり(山田朗)―以上の各氏が論考。いわさきちひろ・勝目テルさんの思い出、劉連仁記念碑除幕式参加記、第8回国連要請行動報告、元博物館長にアウシュビッツの抵抗闘争を聞く、話題を読む・農民運動の系譜・文芸・その他多彩に収録。
A 5版・152頁、定価1000円、送料240円、各県本部でお求めください。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟



中 央	賀正 日本共産党 中央委員会 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一六二七 〇三三四〇三三六二一 東京千代田区永田町一七二衆議院内 〇三三三八一五八八八	賀正 二〇〇五年 元旦 日本共産党 国議員団 東京都千代田区永田町一七二衆議院内 〇三三三八一五八八八	安保破棄中央実行委員会 東京都千代田区三崎町二一三 〇三三三六四一四七六四	自由法曹団 団長 坂本 修 東京都文京区小石川一三二二八 DIKマンショ小石川〇二二 〇三三三八一四二二九七	日本民主青年同盟 中央委員会 東京都渋谷区神山町四 〇三三三六八五三〇一 F〇三三三六八五三〇一	日本婦人団体連合会 月刊「婦人通信」 東京都渋谷区千駄ヶ谷一三九三〇三 〇三三三三〇一六四七 F〇三三三三〇一六四七	新日本婦人の会 東京都文京区小石川五一〇二二〇 小石川Mビル 代表電話 〇三三三八一四九一四
婦人民主クラブ(再建) 婦 民 新 聞 〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷一三八 第12層 〇三三四七七八一三三二 F〇三三三三三三三三三二	全国労働組合総連合 熊谷 金 道 〒113-8465 東京都文京区湯島二四四 全労連会館四F 〇三三三三八四一五六一	全国商工団体連合会 会 長 国 分 稔 〒171-8575 東京都豊島区目白一三六二一 〇三三三三九八七四三九一 F〇三三三三九八八〇八二〇	日本国家公務員 労働組合連合会 中央執行委員長 堀口 士郎 東京都港区西新橋一七二四 〇三三三三六六三六三	全労働省労働組合 中央執行委員長 新宮 峰男 東京都千代田区霞が関一三二二 中央高層ビル八階 〇三三三三三三三三三 内線五八九〇五八九五	全法務省労働組合 中央執行委員長 岩波 薫 東京都千代田区霞ヶ関一三二 〇三三三三三八〇五八四	全国税労働組合 東京都千代田区霞ヶ関三二一 国税庁内 〇三三三三三八一三六七八 F〇三三三三三〇八八八六	全日本教職員組合(全教) 憲法・教育基本法を守りまかせよう! 中央執行委員長 石 元 巖 東京都千代田区一番町二二 全国教育文化会館3F 〇三三三三三三三三三
日本自治体労働組合総連合 中央執行委員長 駒場 忠親 東京都文京区大塚四一〇七 自治労連会館 〇三三三三三三三三三	日本医療労働組合連合会 東京都台東区入谷一四九一五 〇三三三三八七五五八七	日本新聞労働組合連合 東京都千代田区三崎町三五六 造船会館五階 〇三三三三三三三三三	農民運動全国連合会 会 長 佐々木 健三 東京都豊島区南池袋一三二二 池袋パークサイドビル四階 〇三三三三三三三三三	全日本年金者組合 みんなの力でゆたかな人生を 中央執行委員長 森 信幸 東京都豊島区南大塚一六〇二〇 〇三三三三三三三三三	生協 労 連 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一〇九 南部ビル三階 〇三三三三三三三三三	全日本民主医療機関連合会 会 長 肥 田 泰 東京都文京区湯島二四四 平和と労働センター七F 〇三三三三三三三三三	原水爆禁止日本協議会 東京都文京区湯島一四四 平和と労働センター六F F〇三三三三三三三三三
非核の政府を求める会 東京都新宿区信濃町三三三 信濃町ビル四〇一 〇三三三三三三三三三	日本中国友好協会 会 長 伊 藤 敬一 東京都千代田区西神田二四一 東方学会ビル3階 〇三三三三三三三三三	日本平和委員会 東京都港区芝一四九 平和会館 〇三三三三三三三三三	日本宗教者平和協議会 理事長 鈴木 徹衆 東京都文京区湯島三三三三三 TS第七ビル五〇二 F〇三三三三三三三三三	日本ベトナム友好協会 東京都豊島区南大塚一七一〇 〇三三三三三三三三三	メディアセンター メ ディ ア セ ン ター (株) き か ん し 代表取締役社長 大石 一之 東京都江東区辰巳 〇三三三三三三三三三	月刊「機関紙と宣伝」 日本機関紙紙協 理事長 大西省 三 東京都港区芝一四四九 F〇三三三三三三三三三	105-0014 東京都千代田区千代田一四四 F〇三三三三三三三三三
平和と労働センター・全労連会館 (財) 全 労 連 会 館 東京都文京区湯島二四四四 〇三三三三三三三三三	信頼と安心の旅 (株) 富士国際旅行社 東京都新宿区新宿二一〇一七 〇三三三三三三三三三	自費出版 民主勢力の本づくり50年。多様な要望に応える高い技術。相談無料。 光陽出版社・(株)光陽メディア 〇三三三三三三三三三	(株)翼プロダクション 代表取締役 山口 逸郎 東京都港区新橋三六二 本洋ビル 〇三三三三三三三三三	劇団 前進座 東京都武蔵野市吉祥寺南町 三三三三三三三三三	株式会社 教宣文化社 代表取締役社長 三澤 憲二 東京都葛飾区豊玉北二二二二 〇三三三三三三三三三	113-8464 東京都文京区湯島一四四 F〇三三三三三三三三三	113-8464 東京都文京区湯島一四四 F〇三三三三三三三三三

家族旅行から各種大会までの旅行社 勤労者レクリエーション協会 〒170-0013 東京都豊島区東池袋一四六-13 F〇三三三九八四一〇四〇七	平和と音楽のつどい実行委員会 「平和と音楽のつどい」は、'98年 からにはじまった平和のための音 楽イベントです。(村田晋一郎) 連絡先〇九〇九三八八八〇一六 メアドレス at.yoko@atmond.com.jp	いわさきちひろ作品普及会 東京都杉並区阿佐谷南一四一 F〇三三三三三三三八三三三三三	(有)石川印刷社 代表取締役 石川 幸一 東京都千代田区猿樂町一三二六 F〇三三三三三三三三三三三三三 F〇三三三三三三三三三三三三三	株式会社 新日本出版社 代表取締役 小 櫻 勲 東京都渋谷区千駄谷四二五六 F〇三三三三三三三三三三三三三	小林多喜二逗留の宿 福元館 0121 神奈川県厚木市七沢二七五八 243-0046 〇四六二四八一〇三三四五 〒F〇四六二四八一〇三三四五	●柳瀬正夢研究会 研究誌「ねじ釘」3号は 「柳瀬正夢と無産者新聞」を 特集します。	162-0044 東京都新宿区喜久井町二九 TEL 〇三三三三三三三三三三三三三 〒F〇三三三三三三三三三三三三三	消費税率引上げ反対 中央経理事務所 税理士 事務 幸美 東京都台東区三筋一〇一七 F〇三三三三三三三三三三三三三	弁護士(日本民主法律家協会) 澤藤 統一郎 東京都文京区本郷五二二二二二二 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 北海道本部 会長 高嶋 信敏 札幌市中央区大通西一丁目四六七番 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 北海道本部 札幌支部 部長 伊藤 三郎 小樽支部 部長 寺井 勝夫 道南支部 部長 佐藤 一夫 道北支部 部長 吉原 成三 釧路支部 部長 鈴木 義保 十勝支部 部長 梅木 静朗 南空知支部 部長 外尾 元子 苫小牧支部 部長 堀田 秀誠 北空知支部 部長 大橋 誠	日本共産党 北海道委員会 委員長 西野 敏郭 札幌市北区北六条西七丁目 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 青森県本部 青森市堤町二丁目一八八五 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 青森県委員会 委員長 堀 幸光 青森市桂木一丁目十一丁四二 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 岩手県本部 会長 川口 浩 盛岡市東町二四二七 国民救援会 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 岩手県委員会 盛岡市本町通二二三一六 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 岩手県本部 会長 川口 浩 盛岡市東町二四二七 国民救援会 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 岩手県委員会 盛岡市本町通二二三一六 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 宮城県本部 会長 大川 芳夫 仙台市青葉区五橋一五三 県労連館 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党宮城県委員会 委員長 中島 康博 仙台市青葉区一番町二二二五 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 秋田県本部 会長 近江谷 昭一郎 秋田市中通五丁目一一一九 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 秋田県委員会 委員長 最上 健造 秋田市中通五丁目一一一九 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 山形県本部 会長 逸見 光雄 山形市八幡町一三八八 鈴木光字方 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党山形県委員会 委員長 後藤 太刀味 山形市双深町一、四五 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 福島県本部 委員長 最上 清治 福島市南矢野目字谷地二七三 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 福島県委員会 委員長 最上 清治 福島市南矢野目字谷地二七三 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 茨城県本部 会長 軽部 博 水戸市見川五二二七 二八一 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 茨城県委員会 委員長 関戸 秀子 水戸市元吉田町二二三 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 栃木県本部 宇都宮市宮内二八八三 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 栃木県委員会 宇都宮市仲町三二二二 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 群馬県本部 会長 堤 右一 群馬県前橋市大手町三二四二 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 群馬県委員会 委員長 大川 正治 前橋市古市町一四七三 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 埼玉県本部 所沢市上山口一八〇二 リヴィエール二〇三三三三三 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 埼玉県本部 委員長 藤 近藤 一雄 所沢市上山口一八〇二 リヴィエール二〇三三三三三 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町一七七一 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 千葉県本部 千葉市中央区松波一四四二 日本国民救援会 千葉県本部内 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 千葉県委員会 千葉市中央区新千葉五一六一五 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 東京都本部 会長 宮田 哲勝 副会長 川口 弘 同 齋藤 邦雄 同 佐藤 元朗 同 松本 増久 同 藤井 美雄 事務局長 山崎 滋 同次長 藤本 久 東京都千代田区神保町一一四 F〇三三三三三三三三三三三三三	日本共産党 東京都委員会 東京都渋谷区代々木一三五一五 F〇三三三三三三三三三三三三三	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館	治安維持法国賠同盟 山梨県本部 甲府市朝日五一七一一 平和と労働会館
---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	---	--	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	--	---	---	---	--	--	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

日本共産党 山梨県委員会 委員長 千葉 信男 甲府市相生二丁目二二 〇五五―一三五一―二四三七	治安維持法同盟 新潟県本部 会長 鈴木 良枝 〒951-8124 新潟市医学町通一―六七 八百源ビル三階 ☎・F〇二五―二六六―四五一九	日本共産党 新潟県委員会 委員長 小日向 昭一 新潟市花園二丁目一〇 〒950-0086 ☎代表〇二五―二四七―六六六六 F〇二五―二四七―六三六八	治安維持法同盟 神奈川県本部 会長 増本 一彦 藤沢市藤沢五七―一七 フジビル 増本法律事務所内 ☎〇四六六―二二一―一七二二	日本共産党 富山県委員会 委員長 反保 直樹 富山市牛島本町一丁目 ☎〇七六―四三二―八三三三
治安維持法同盟 富山県本部 支部長 経田 弥吉 朗 富山県上新川郡大沢町下大久保 二二九―一六六―小森方 〇七六―四六八―一三〇三	治安維持法同盟 長野県本部 会長 加藤 孝一 長野市東町五九三 高校会館 同 飯水中須高水支部 同 飯上小更支部 同 飯上佐更支部 同 飯上中更支部 同 飯上伊那支部 同 飯上伊那支部	日本共産党 長野県委員会 県委員長 今井 誠 長野市若里一―二二七 長野市地区委員会 北水地区委員会 佐久地区委員会 上小更地区委員会 諏塩地区委員会 飯伊那地区委員会 中飯信地区委員会	日本共産党 石川県委員会 委員長 秋元 邦宏 金沢市中村町九一〇 ☎〇七六―二四三―二八七七 金沢市山科町四一―三二 ☎〇七六―二四一―七八四一 金沢・加南・河北・七鹿支部	治安維持法同盟 福井県本部 会長 吉田 一夫 敦賀市新和町一―四九一 ☎〇七七〇―三二二―二二七
日本共産党 福井県委員会 委員長 西村 明宏 福井市文京一―五九九 〇七七六―二七三―八〇〇	治安維持法同盟 岐阜県本部 岐阜市西野町六―二五 〇五八―二五一―四〇八二 岐阜県本部 同 岐阜市西野町六―二五 同 岐阜市西野町六―二五 同 岐阜市西野町六―二五 同 岐阜市西野町六―二五 同 岐阜市西野町六―二五	日本共産党 岐阜県委員会 委員長 松岡 清 岐阜市千石町一―二二 〇五八―二六五―三八七一 岐阜市鷹匠一―五八―さかえビル ☎〇五四―二七三―八七四四	日本共産党 静岡県委員会 委員長 松下 功 副委員長 浅賀 道夫 副委員長 山村 糸子 書記長 岩附 幸雄 静岡市巴町六―四 ☎〇五四―二四五―二二四四	治安維持法同盟愛知県本部 会長 花田 啓一 名古屋市中区大須四―四四七 山岸ビル四六号 ☎〇五二―二五一―二六五
日本共産党 愛知県委員会 委員長 岩中正 巳 名古屋市中区新栄三―二二七 〇五二―二六―一三四六	治安維持法同盟 滋賀県本部 会長 川端 俊英 大津市南志賀二―四一五 〇七七―五二四―六八六〇 大津支部 大津支部 大津支部 大津支部 大津支部	日本共産党 滋賀県委員会 委員長 奥谷 和美 大津市昭和町四―一八 〇七七―五二四―二八二〇 大津市昭和三―一八 〇七七―五二四―二八二〇	日本共産党京都府委員会 委員長 中井 作太郎 京都市中京区丸太町新町角 大炊町一八六 ☎〇七五―二二一―五三七一	日本共産党 三重県委員会 委員長 大嶽 隆司 津市桜橋一―六〇九 ☎〇五九―二二七―七三〇一
治安維持法同盟和歌山県本部 会長 藤沢 弘太郎 和歌山市吉田一〇二 〇七三―四二二―七〇七六	和歌山東支部 支部長 林 幸三 和歌山西支部 支部長 関口 義英 和歌山北支部 支部長 西村 純一 橋本・伊都支部 支部長 宇佐美 秀昭 那賀支部 支部長 高瀬 賢司 海南海草支部 支部長 角谷 義久 有田支部 支部長 平井 昇三 日高支部 支部長 川出 次信 西牟婁支部 支部長 池田 孝雄 紀南支部 支部長 和田 四郎	日本共産党 和歌山県委員会 委員長 竹内 良平 和歌山市西長町二―三三 ☎〇七三―四二五―四一一一	治安維持法同盟大阪府本部 会長 柳河瀬 精 大阪市天王寺区寺田町二―六 東大阪ビル三階 ☎・F〇六―六七七―七五五五	

日本共産党 大阪府委員会 大阪天王寺区空堀町一三 ☎〇六―六七六―七八七七一 治安維持法同盟兵庫県本部 会長 井之口 薫 神戸市中央区元町通 六―六一―二 ☎〇七八―三五一―〇六七七	日本共産党 島根県委員会 松江市袖師町三六 ☎〇八五―二四一―二四四四 治安維持法同盟山口県本部 鳥取県本部 会長 伊藤 昭二 鳥取市立川町六丁目三四―二八 (草刈司方) ☎〇八五七―二四一―二四二五八	日本共産党 徳島県委員会 徳島市寺島本町西二丁目一六 ☎〇八八―六二六―一五五〇 日本共産党徳島県委員会 委員長 山本 茂喜 徳島市北佐古二丁目一四〇 ☎〇八八―六三一―一三二二	治安維持法同盟 福岡県本部 福岡市中央区大名二丁目一五 第一吉田ビル五〇二 ☎〇九一―七三二―一四四四 日本共産党 福岡県委員会 県委員長 安広 和雄 福岡市博多区住吉五六―一四 ☎〇九二―四二一―一五三一	治安維持法同盟 大分県本部 会長 立川 義人 宇佐市高森二 都留忠久方 ☎〇九七―八三三―八五二 日本共産党大分県委員会 委員長 林 田 澄孝 大分市津留一―二八 ☎〇九七―五五八―六五二
日本共産党 兵庫県委員会 神戸市兵庫区新開地 三―四―二〇 ☎〇七八―五七七―六二五五 治安維持法同盟 奈良県本部 奈良市西木辻瓦町35 井本ビル3F 奈商連内 ☎〇七四―二三三―八五七六	日本共産党 鳥取県委員会 鳥取市吉方一六八―八 ☎〇八五七―二三八―三六九 治安維持法同盟 広島県本部 〒730 広島市中区八丁堀八七四 長束ビル四階広島共同法律事務所内 ☎〇八二―二二一―二八六七	日本共産党 香川県委員会 高松市藤塚町三十三―十四 ☎〇八七―八三三―七三一一 治安維持法同盟 愛媛県本部 今治市大浜町一四三内山方 ☎〇八九―二二六―四〇七	日本共産党 佐賀県委員会 佐賀市神野東四―一〇三八 ☎〇九五―一三三―一〇三九一 治安維持法同盟 長崎県本部 会長 吉田 次雄 大市吉町二一六〇九 竹尾一夫方 ☎〇九五―七五三―一三六七	日本共産党 宮崎県委員会 宮崎市清水三九―二八 ☎〇九八―五二七―六六六六 治安維持法同盟 鹿児島県本部 鹿児島市上福元町三八〇八 ☎〇九九―二六八―一三三三
日本共産党 岡山県本部 岡山市中島町一三 ☎〇八六―二七二―二四三八 治安維持法同盟 岡山県本部 会長 則武 真一 岡山市西中島町一三 ☎〇八六―二七二―二四三八	日本共産党 山口県委員会 委員長 山本 丈夫 山口県吉野郡小郡町山七三七五 ☎〇八三―九九七―四二二〇 「再び戦争と暗黒政治許さぬ」 四・一六事件被告 治安維持法同盟 山口県本部名誉会長 田熊 真澄	日本共産党 愛媛県委員会 松山市立花一―三三四四 ☎〇八九―九四三―五九七 治安維持法同盟 高知県本部 高知市河ノ瀬町一〇四 ☎〇八八―八三三―一八〇四	日本共産党 熊本県委員会 委員長 久保山 啓介 熊本市細工町二三―一 ☎〇九六―一三三―二二七〇	日本共産党 沖縄県委員会 委員長 赤嶺 政賢 那覇市泊二四―一七 ☎〇九八―八六二―六三三二
日本共産党 岡山県委員会 岡山市新京橋一―三十一八 ☎〇八六―二七二―二四三八 治安維持法同盟 岡山県本部 会長 金 森 ひろたか 出雲市塩治有原町四一六―一 勝部庸一方 ☎〇八五―三二二―三四七四	日本共産党 山口県委員会 委員長 山本 丈夫 山口県吉野郡小郡町山七三七五 ☎〇八三―九九七―四二二〇 「再び戦争と暗黒政治許さぬ」 四・一六事件被告 治安維持法同盟 山口県本部名誉会長 田熊 真澄	日本共産党 愛媛県委員会 松山市立花一―三三四四 ☎〇八九―九四三―五九七 治安維持法同盟 高知県本部 高知市河ノ瀬町一〇四 ☎〇八八―八三三―一八〇四	日本共産党 熊本県委員会 委員長 久保山 啓介 熊本市細工町二三―一 ☎〇九六―一三三―二二七〇	日本共産党 沖縄県委員会 委員長 赤嶺 政賢 那覇市泊二四―一七 ☎〇九八―八六二―六三三二